

# 生きる力つて

通学合宿では、自分たちで考え、行動しなければならなかった。

学校教育は完全学校週5日制を導入し、自ら学び自ら考えて行動できる「生きる力」を育てようとしている。子どもたちが通学合宿で身をもって学んだ「生きる力」について考える。

## ゆとりの中で 生きる力を育てる

平成14年4月から学校教育に導入された「完全学校週5日制」。毎週土曜日が休みになり、子どもたちは学校外での時間が増えました。

完全学校週5日制と新しい学習指導要領は、一人ひとりの子どもたちが、自ら学び自ら考える力など「生きる力」を育てることが基本的なねらい。その「ゆとりの中で生きる力を育てる」教育も導入されてから2年3か月の月日が過ぎました。

## 家庭や地域の中でも 多くを学ぶ子どもたち

学校教育の時間が減り、そ

の分家庭や地域での時間が増え、今まで以上に家庭、地域の役割が大切になっていきます。

子どもたちは、学校の授業だけでなく、家庭や地域の中で過ごす時も、活動や体験を通して、多くのことを学び、日々成長しています。

教科の知識だけでなく、生活の中で必要なルールや思いやり、やさしさといった内面的なものをしっかりと学ばなければなりません。それらは学校だけでなく家庭や地域社会など生活全体で学ぶもの。道徳観や正義感などは家庭や地域社会での体験が豊かであるほどしっかりと身につけてきます。

子どもたちが充実した生活を過ごせるかどうかは、家庭

や地域の取り組みが重要になってきます。それぞれが受け皿としての役割とは何なのかもう一度考えていかなければなりません。

## 自分から進んで 学び・考え・行動する

生きる力とは。子どもたちが自分で課題を見つけ、自分から進んで学び、考え、行動し、問題を解決する力。そして、他人のことを思いやる心や感動する心など豊かな人間性とたくましく生きていくための健康と体力。その力は豊かな心で心身ともに健康な人づくりへとつながります。

今回行われた通学合宿では「自分で気づき、考え、行動する」というテーマがありま

根雨小学校長

## 青戸 哲範



## 根

雨小学校の「総合的な学習の時間」は、3年生が福祉、4年生が根雨地区の地理、5年生が食について、6年生が人権をテーマに取り組み、実際に地域に出かけたりして学んでいきます。

子どもたちには「自分の気持ち」や「相手の気持ち」を大切に思う思いやりのある人間になってほしいと思います。

最近の子どもたちは、テ

レビゲームでよく遊びます。ゲームならすぐにリセットできてまた遊べますが、人生はそんなものではありません。それを教えてくれるのは、実体験の中での人と人とのふれあいであつたりつながりだつたりします。

人と人との関係はまず「あいさつ」から始まりません。子どもたちにはだれにでも「あいさつ」のできる子になってほしいです。

学校を離れて、地域社会の中でさまざまな体験活動をする中で、自分から取り組んでいく自主性が生まれてくることを期待しています。



田植えから稲刈りまで子どもたちが育てる

## 小学校長に聞く